

1. 研究テーマ

自然との共生を目指した琵琶湖流域圏の管理に関する研究

2. 所属

国立環境研究所 生物多様性領域または地域環境保全領域

3. 募集人数

テニュアトラック型任期付研究員 1名

4. 研究内容

国立研究開発法人国立環境研究所は、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター内に琵琶湖分室を2017年度に開室し、琵琶湖の在来魚の生態と水環境の保全に関する研究を行ってきた。これまでの琵琶湖分室の研究活動を継承し発展させ、琵琶湖及びその流域圏を主対象とし、生物や水質に関する基礎調査に加えて、森・里・川・湖沼・海等のつながりなどの空間配置・構造を考慮して、生物多様性・生態系保全と水循環・物質循環の健全化に向けた流域圏の管理手法の提案を行う。中長期的には、琵琶湖流域圏のみならず、霞ヶ浦や全国湖沼等の流域圏との比較研究、国際共同研究などによる広域展開を行う。

研究の立案や遂行においては、自然を基盤とする解決策(NbS: Nature-based Solutions)などの包括的なコンセプトも意識して学際的な研究を進め、地元機関や地域社会、各種ステークホルダーとの協働を行い、研究成果の社会実装に貢献する。

具体的なテーマとしては以下のいずれかあるいは複数を想定しているが、流域圏の生物あるいは水環境を対象とするものであれば他のテーマも妨げない。

- (1) 現地観測、遠隔観測、地理情報、環境 DNA 技術等を用いた生物分布や物質収支・循環の評価
- (2) 生物多様性・生態系機能の変化を駆動する要因の解明とそれに基づく保全策の立案
- (3) 生態系機能・サービスの評価と地図化、各種の問題解決（生態系サービス間のトレードオフの緩和、気候変動に対する適応など）に向けた生態系機能の活用方法の検討
- (4) 生態系機能・サービスの保全と持続的利用を両立する流域の土地利用デザインや対策オプションの配置の検討

5. 応募資格

- (1) 採用時に博士の学位を有する（採用時に学位取得見込を含む）もしくは、それに相当する業績を有すること。
- (2) 生態学、陸水学、自然地理学、水理・水文学、生物地球化学、環境工学などの生物多様性・生態系・水循環・物質循環に関連する分野における研究業績を有すること。
- (3) 生物多様性・生態系の保全や水環境の保全管理に関する国内外の政策や社会動向を理解し、異なる分野の研究者やステークホルダーと協働した研究の遂行と社会実装を行う強い意欲を有すること。

(4) 日本語および英語によるコミュニケーション能力を有すること。日本語を母国語としない場合は、日本語検定 N1 と同等かそれ以上の能力を有すること。

6. 提出書類 ※ (1) 以外は様式自由

- | | |
|------------------------------------------------|-------|
| (1) 履歴書（写真貼付、 所定の様式 を使用） | 1 部 |
| (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、学会発表、競争的研究資金、学会・社会活動） | 1 部 |
| (3) 主要論文別刷り又はコピー（3 編以内） | 各 1 部 |
| (4) これまでの研究概要（A4 判 1～3 枚程度） | 1 部 |
| (5) 研究に対する抱負（A4 判 1～2 枚程度） | 1 部 |
| (6) 所見を求めうる方の推薦状 2 通（国立環境研究所職員以外からの推薦状を 1 通以上） | |
- ※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

7. 応募締切

2021 年 9 月 30 日（木）必着

8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。面接日は 2021 年 10 月後半～11 月を予定。面接は日本語にて行う。

※面接審査においては Teams 等による WEB 面接とする場合がある。

9. 応募方法

電子送付による。

○「6. 提出書類（1）～（5）」について

電子送付の方法については、9 月 16 日（木）までに下記 15. (2) の担当者あてにメールでお問い合わせください。

その際、メールの件名を「R3-研テ-03 琵琶湖流域圏任期付研究員応募」と記載ください。

○「6. 提出書類（6）」について

推薦者から下記 15. (2) の担当者あてに直接メールで送付ください。

なお、郵送による応募を希望する場合は、封筒に朱書きで「R3-研テ-03 琵琶湖流域圏任期付研究員応募書類」と記載し送付ください。

10. 雇用予定時期

2022 年 1 月 1 日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

11. 雇用期間

2021年度内の着任の場合は、任期は最長で2026年3月末まで。
2022年度内の着任の場合は、任期は最長で2027年3月末まで。

12. 勤務地

琵琶湖分室（滋賀県大津市）

ただし、つくば本部（茨城県つくば市）又は福島地域協働研究拠点（福島県田村郡三春町）への転居を伴う異動が有り得る。

13. 処遇等

テニユアトラック型任期付研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。

（試用期間） 6 箇月

（その他就業関係） 「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規定によりご確認ください。

（参考） 国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に6か月以上1年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

14. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第15条の2の対象業務に該当します。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第18条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

15. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

生物多様性領域長 山野博哉

Tel 029-850-2477

E-mail hyamano(半角で@nies.go.jpをつけてください。)

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 川尻麻美

Tel 029-850-2316

E-mail saiyo(半角で@nies.go.jpをつけてください。)

16. 公募番号

R3-研テ-03